

「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

R-PDCAサイクルで「自己マネジメント力」を育む

埴町立埴小学校

家庭学習の習慣はおおむね身に付いているが、自主学習の取組に課題が見られた。「家庭学習の進め方」を作成したり、児童の発達段階に合わせて「生活ノート」や「自己マネジメントシート」を活用したりして、主体的に学習を進めながら「自己マネジメント力」の育成に取り組んでいる。

取組のねらい

発達段階に合った「自己マネジメント力」を身につけさせる。

児童に「自分を知る（R）→計画する（P）→自ら学習する（D）→振り返る（C）→見直す（A）」のサイクルで主体的に学習を進めながら「自己マネジメント力」を身に付けさせる。家庭学習の基本的な習慣を身に付けさせる低学年から、自分の力に合わせて主体的に学習する高学年まで、児童の発達段階に合わせて系統的に家庭学習への取組を指導する。

取組の内容

「家庭学習の進め方」の作成

「家庭学習の進め方」を基に、家庭学習で育てたい力や進め方を全職員で共有してから、児童にも伝えて意識の向上を図った。4月の授業参観では、「家庭学習スタンダード」のリーフレットと関連させながら保護者にも説明し、協力を呼びかけた。

「生活ノート」の活用

低・中・高学年で生活ノートを活用し、家庭学習の習慣づくりや環境づくりを行っている。



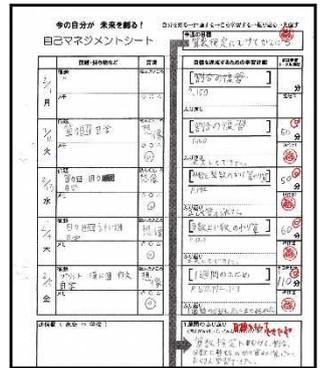
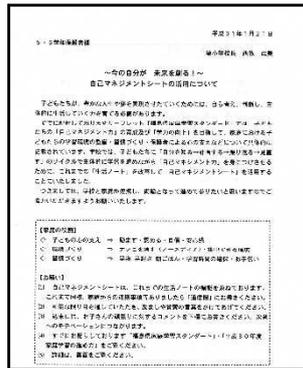
【家庭学習の進め方】

「自己マネジメントシート」の作成と活用

高学年の児童が、自分の力に合わせた目標を立て、見通しをもって家庭学習に取り組めるように、「自己マネジメントシート」を作成した。

【左：保護者宛のお便り】

【右：自己マネジメントシート】



実践して見えてきたこと

児童の意識の変化と学習内容の向上

自己マネジメントシートを使い始めて、児童の家庭学習への意識や取組が変わってきた。目標や見通しをもつことで自分が勉強すべき内容で迷うことが少なくなり、自主学習に取り組みやすくなった。学習に苦手意識を持っていた児童も、「昨日〇〇をがんばったから、今日はこれ」というように学習を継続するうちに家庭学習の仕方が分かり、意欲的に取り組むことができている。全体的に、家庭学習への意識が向上してきて、学習内容の質も上がってきている。

家庭との協力・連携の必要性

家庭学習で自己マネジメント力を育てていくためには、児童の意識を高めると同時に、家庭との協力・連携を更に図っていく必要がある。

「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

家庭学習の充実で「自己マネジメント力」の育成を図る

埴町立笹原小学校

「家庭学習スタンダード」を活用して学校と家庭で連携したり、連絡帳や生活ノートを活用して家庭学習の充実を図ったりしながら、「自己マネジメント力」の育成に取り組んでいる。

取組のねらい

学校と家庭が連携し、「自己マネジメント力」の育成を図る。

学校で、日々の授業と家庭学習がつながるように指導に当たったり、家庭学習の方法や内容を具体的に提示したりすることを重点として取り組むことを心がけてきた。家庭では、3つの視点として掲げられている「心の支え」「環境づくり」「習慣づくり」を重点項目として取り組むことを保護者に働きかけてきた。

このように、「家庭学習スタンダード」を活用し、学校と家庭が連携していくことで、児童の学力の向上や自己マネジメント力の育成を図っていくことをねらいとする。

取組の内容

保護者への周知

4月のPTA総会、学年懇談会の際に、「家庭学習スタンダード」の概要について周知する機会を設けてきた。学年通信で、「家庭学習スタンダード」の活用の仕方をお知らせしたり、児童の家庭学習の様子を紹介したりすることで、家庭学習における保護者の協力を仰いできた。

児童の家庭学習への取組

低・中学年の児童は連絡帳を使い、その日の宿題や次の日の連絡事項、日記などを書かせ、家庭学習の予定を確認したり、一日の生活の様子を振り返ったりすることができるようにしている。

高学年の児童は、学級独自の生活ノートを活用し、自主学習の予定を決めたり、一日の生活を振り返って文章で表したりしている。

自主学習の予定を決める際には、授業で学習した内容の復習やこれから学習する内容の予習など、児童が自分の課題を考え、その改善に向けて計画を立てることができるよう声かけをしてきた。また、家庭学習の時間やテレビを見たりゲームをしたりした時間を記入する欄を設け、家庭での生活の様子を自分で振り返り改善できるようにしている。

【高学年の生活ノート】

実践して見えてきたこと

家庭の意識の向上

家庭によっては、児童の家庭学習のがんばりの様子を励ますようなコメントを書きくださったり、自主学習において問題を作成してくださったりすることもあった。このような家庭の支援が、児童の意欲の向上に大きな効果をもたらした。

「家庭学習スタンダード」の活用方法の工夫

児童の様子を見ると、学校から出された宿題についてはしっかりと取り組むことができていることが分かる。だが、自ら課題を見出し、その解決に向けて計画を立てて実行し、その成果を確かめ、方法や内容を見直すという「R-PDCAサイクル」を通した「自己マネジメント力」の育成には、まだ課題が残っている。そのため、来年度は「家庭学習スタンダード」の活用の仕方を、さらに検討していく必要がある。